

# 立教 經濟學研究

第十八卷 第三号

昭和三十九年十二月

## 論 文

「資本としての貨幣」について…………… 広 田 純

—— 宇野・鈴木両氏の利子論の検討 ——

初期アングロサクソン国家における王領…………… 田 中 正 義

—— 前封建国家の歴史的格 格 その一 ——

個別資本の規定について…………… 三 戸 公

—— 経営学の対象 ——

複式簿記の形成論理の検討…………… 茂 木 虎 雄

イギリス工鉱業における作業場および

土地の賃貸借制度の展開とその意義(三)…………… 大河内 暁 男

## 研 究

「価値の誘導 (Die Ableitung des Werts)」について

…………… 大 木 啓 次

—— 『経済学批判』から『資本論』現行版へ

いたる改訂の検討を通して ——

一国資本主義分析の基本的意味について…………… 水 谷 謙 治

—— 『ロシアにおける資本主義の発達』と

『帝国主義論』との検討 ——